

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

フタムラ化学株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広多賀谷二丁目1番2号

(3) 業種

無機化学工業製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度を基準年度とし、平成30年度から令和4年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(t)

温室効果ガスの種類	原単位 (a) 基準 年度 原単位 (平成29年度 (2017)平 成29年度 (2017))	目標年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
		目標年度 原単位 (b) 上段：原単 位削減率 (c) 下段：削減 率 (c)	上段：原単位 実績(d) (平成30年度 (2018)平 成30年度 (2018))	下段：削減 量の対基準 年度比 (e) (令和元年度 (2019))	下段：削減 量の対基準 年度比 (e) (令和2年度 (2020))	下段：削減 量の対基準 年度比 (e) (令和3年度 (2021))	下段：削減 量の対基準 年度比 (e) (令和4年度 (2022))
起源CO ₂ エネルギー	1.83	1.73	2.00	1.86	1.70	1.88	1.86
起源CO ₂ 非エネルギー		5.5	-9.3	-1.6	7.1	-2.7	-1.8
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出量総計 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算k1)	1.66	1.57	1.62	1.61	1.51	1.64	1.64
		5.4	2.4	3.0	9.0	1.2	1.1
実績に対する 自己評価	設備トラブル、減産の影響での原単位悪化の影響を受け過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位の年平均1%削減目標が達成できなかった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

項目	削減量等	具体的な取組
1 節電の推進		室外機の清掃、不要時・不在時・昼休みの消灯、照明の間引き、冷暖房温度管理等 エア漏れ・照明のパトロールの実施
2 設備消費電力の削減		ポンプモーター高効率化(55kW 1台) 照明LED化(倉庫、乾燥、回収、排水 作業場) 22kWルーツプロアインバータ化
3 焼成炉消費燃料エネルギーの削減		廃熱導入エア一量の調整、廃熱導入路の清掃
4		

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組(環境価値の活用等)

種類	合計量
1	
2	
3	

○ その他の取組

項目	削減量等	具体的な取組
1 ISO14001の維持		内部監査(2回/年)・維持更新審査
2 内部監査		本社安全環境部による社内監査
3 外部研修への参加		コロナ禍により延期

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。